

第4回まちなかストリートデザインラボ 開催報告書

八戸市まちづくり文化スポーツ部 まちづくり推進課

令和4年12月5日

Agenda

1. 開催概要
2. 講演概要
3. グループワーク
4. グループ意見まとめ
5. 次回開催内容

1. 開催概要

目 的

本ラボは、国道340号三日町-十三日町区間の街路を、居心地が良く歩きたくなるストリートへ再編するための街路づくりの勉強会であり、新しい「まちづくり」を「みちづくり」からはじめるものである。

前半第1回から3回までは、一般の参加者から、主に街路の使い方の視点で意見を出し合ってもらったが、後半第4回から6回については、参加者を沿道関係者に限定し、街路の具体的な線形や意匠について検討してもらい、その内容を今年度策定予定の「八戸市中心街ストリートデザインビジョン」に反映するほか、来年度実施予定の実証試験による効果検証などの結果と共に、道路管理者である青森県に提案するため、開催するものである。

1. 日	時	令和4年10月26日(水)	15:00~17:00
2. 場	所	八戸ポータルミュージアムはっち2F	シアター2
3. 講	師	株式会社設計領域	代表取締役 吉谷 崇氏
4. ファシリテーター		広場ニスト	山下 裕子氏
5. 参 加 者		17名（関係者除く）	
6. 講 演 題 目		「街路デザインの可能性」	
7. グループワーク議題		「道路線形案について」	

1. 開催概要①

(1) なぜビジョンをつくるのか

- ✓ 国道340号三日町-十三日町区間の歩道は劣化が進んでいる状況。使用しているタイル材も廃番となり欠損箇所をアスファルトで充填し、景観も良くない状況のため、歩道の改修は必須。
- ✓ しかし、単に歩道修繕だけでよいのか…。
- ✓ 「まち」は「建物（機能や店舗）」と「みち」から構成されている。
- ✓ みちづくりを行うことで、機能の維持・再編にプラスになり、様々な活動が広がることに。

中心街の背景

沿道の
建物
(機能や店)

- ✓ 商店街の形成（商業機能）
- ✓ 商業機能だけではなく、「多様な機能」が集積

「居住」の場所
「働く」場所
「社会的活動」の場所
「コミュニティ」の場所
「観光客」や「ビジネス客」が訪れる場所

みち
(道路)

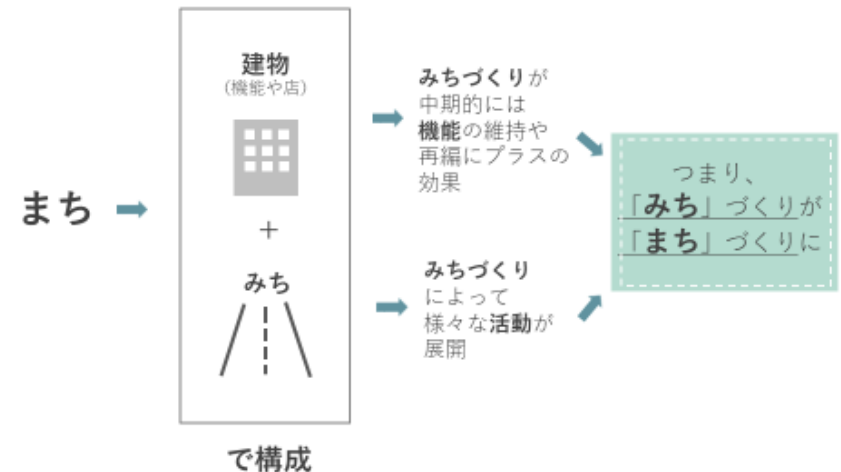
- ✓ 単に買物等の目的地に向かうため(単なる通行(必要活動))だけの道路でよいのか
- ✓ 「多様な機能」の集積に伴い、多様な目的の人々に合わせた道路にする必要性

「居住者」にとって過ごせる場所があればいい
「観光客」「ビジネス客」等が快適に回遊できたらいい
「コミュニケーション」や「出会い」の場になればいい など

つまり、滞在や遊歩といった「任意活動」、
さらにはマーケットなどの「社会活動」に視点を向けることが大切

なぜビジョンをつくるのか

「歩きやすい歩道を…」は皆様思うところ
しかし、単に歩道を直すだけでよいのでしょうか？



(2) 中心街の背景

- ✓ 商店街（商業機能）だけでなく、住む人、働く人、観光・ビジネス客のための場であったり、社会的活動、コミュニティの場など、多様な機能が集積することが大事。
- ✓ そのためには、単に買物等の目的地に向かうためだけの道路ではなく、その人の目的に合った多様なまちづくりを行うことが必要。
- ✓ 散歩や滞在などの「任意活動」やマーケットなどの「社会活動」に視点を向けることが大事！

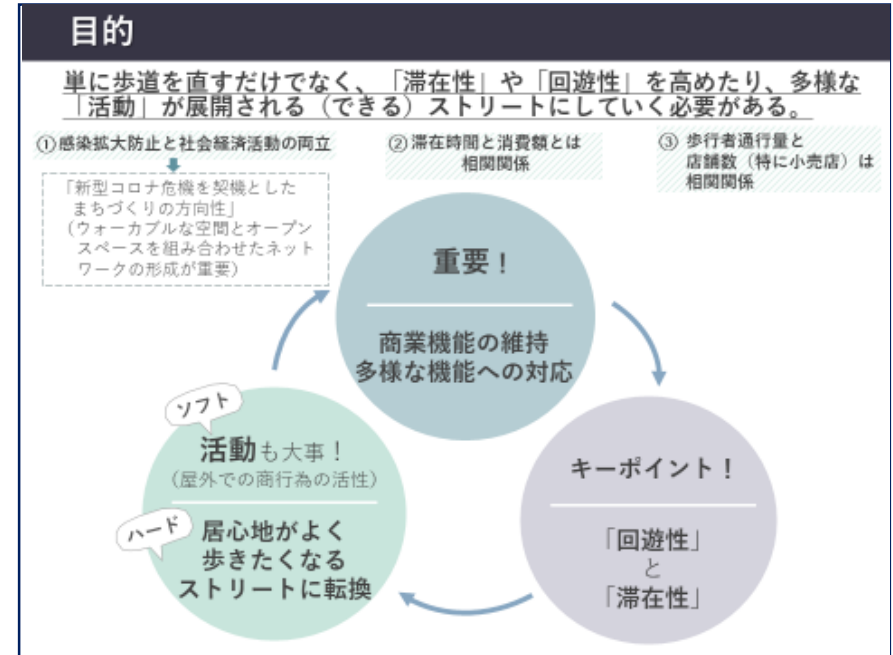
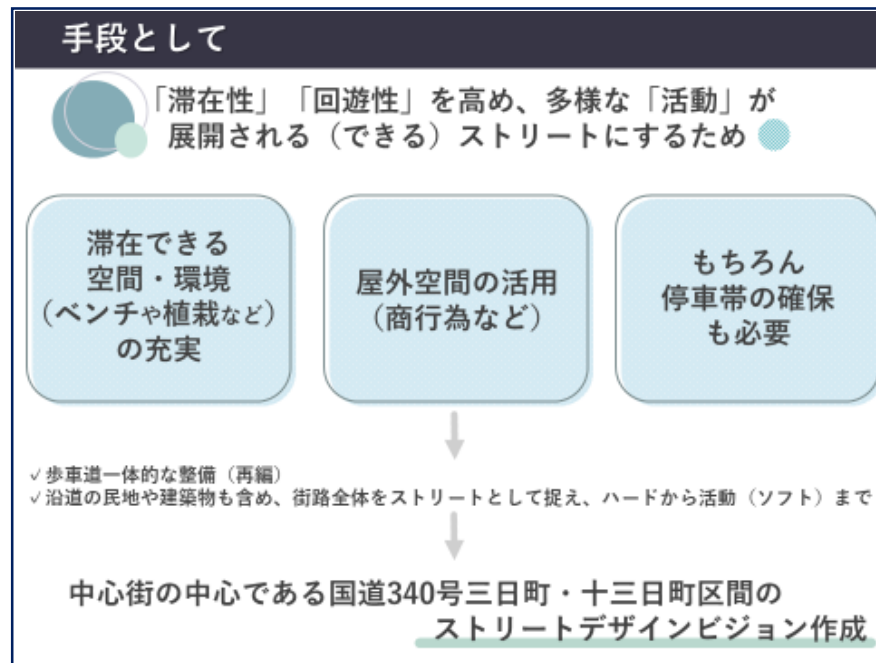
1. 開催概要②

(3) ビジョンをつくる目的

- ・滞在時間と消費額とは相関関係
- ・歩行者通行量と店舗数は相関関係



- ✓「回遊性」と「滞在性」がキーポイント
 - ✓活動（ソフト事業）とストリート再編（ハード事業）どちらも大事！
- 両面からのアプローチで、商業機能の維持等につなげる。



(4) その手段として

- ✓ ゆったりと滞在してもらえるようなベンチや植栽を設置した空間づくり。
- ✓ 例えばマーケットの開催などの屋外空間の日常的な活用など。
- ✓ 停車帯を設けるなど店舗営業の妨げにならないよう配慮は必須。

→ 上記のように歩車道を一体的に再編する
ストリートデザインを作成する。

1. 開催概要③

(5) 国のウォークブル推進の動き

- ✓ コロナ占用特例措置により、沿道を活用した飲食提供の基準が緩和されている（今後も措置期間延長の可能性あり。）
- ✓ 継続して実施したい場合には、歩行者利便増進道路（ほこみち）制度の活用により道路占用がより柔軟に！

国の動き

道路占用に関するコロナ特例について

国土交通省

コロナ占用特例

新型コロナウイルス感染症の影響を受ける飲食店等を支援するため、沿道飲食店等の路上利用の占用許可基準を緩和する特例措置（R2.6～）

- 占用期間はR4.9.30まで（今回延長前）
- 全国の約170の自治体で適用事例があり、占用許可件数は全国で約420件（R3.7.7現在）



（北海道室蘭市より提供）



（岐阜県大垣市より提供）

歩行者利便増進道路（ほこみち）制度

（R2.11.25施行）

地域を豊かにする歩行者中心の道路の構築のため、各道路管理者が指定した道路のうち、オープンテラス等の施設を誘導するために指定された特例区域では、道路占用がより柔軟に認められる



ほこみち制度への円滑な移行を推進

ほこみちへの移行状況

- R4.9までに、約50件がほこみちに移行
- ⇒ 占用主体に継続希望がある事例につき、引き続き、円滑な移行を推進

【神戸市（三宮中央通り）】
※ R3.2に全国で初めてほこみち指定



新型コロナウイルスの状況、ほこみち制度への移行状況等を踏まえ、

- コロナ占用特例の期限をR5.3.31まで延長
- ほこみち制度への円滑な移行のため、引き続き全国の道路管理者と連携

取組について

(1) ストリートデザイン勉強会の開催

有識者を招聘し、広く一般市民等を対象とする勉強会（講演及びワークショップ）を開催。参加者の様々な視点から「こういうストリートにしたい」という意見を出し合いながら、互いに学び合う。

(2) ストリートデザインビジョンの策定

線形案や舗装・工作物等といった意匠案、パース案を検討し、商店街関係者等の意見を伺いながら、ビジョンを確定していく。

(3) 国道340号街路再編実証試験

令和5年度以降に、ストリートデザインビジョンに基づく整備を行った場合の交通量への影響や、滞在性・回遊性の効果を検証するための実証試験を行いたい。



ビジョンや実証試験結果を基に、道路管理者にて詳細設計や整備につなげていく。
八戸市と青森県で、より良い街路づくりを連携して進めていく。

(6) 実現に向けての取組について

- ✓ 本勉強会の開催で、沿道関係者の皆様からのご意見をいただきながら、官民一体となって推進。
- ✓ いただいた意見を集約、反映しながら、ストリートデザインビジョンを策定する。（R4年度中）
- ✓ 策定したビジョンに基づき、国道340号街路再編の実証試験を行う。（R5年度実施予定）

→ 県管理の国道のため、県・市連携し、より良い街路整備を推進する。

Agenda

1. 開 催 概 要
2. 講 演 概 要
3. グループワーク概要
4. グループ意見まとめ
5. 全 体 意 見 ま と め
6. 次 回 開 催 内 容

2. 講演概要

「街路デザインの可能性」

講師
吉谷 崇氏

株式会社設計領域 代表取締役／技術士（建設部門）

2002年東京大学大学院社会基盤工学修了。2009年新堀大祐とともに(株)設計領域設立。設計という職能の領域を広げることがモットーに、分野の垣根を越えた設計活動を全国で展開。主な実績に松山市花園町通り、長崎駅舎・駅前広場など。渋谷区景観アドバイザー、早稲田大学非常勤講師。著書に『まちを再生する公共デザイン』（共著・学芸出版社）ほか。

講演内容

企業コンセプト — デザイン提案から設計までを通して —

人をつなぐ

風景をつなぐ

物語をつなぐ

※講演動画はこちらから
（限定配信）



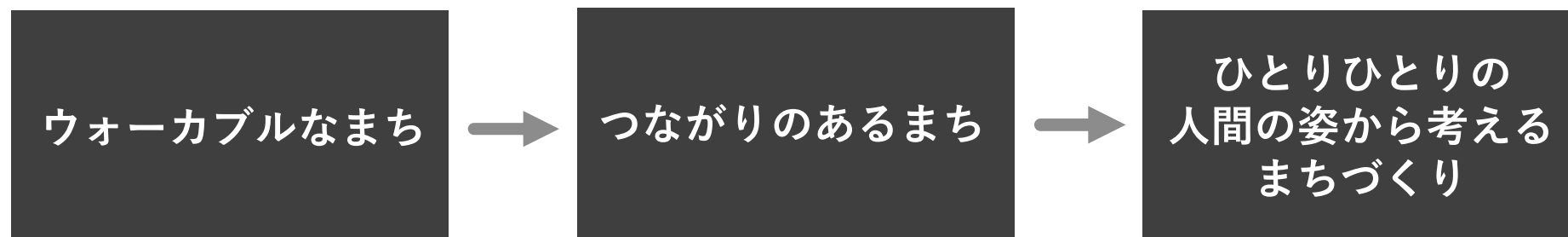
まちづくりとは「地域の価値」をつなぐこと

2. 講演概要

「街路デザインの可能性」

街路は元々人々を「**つなぐ**」場所

「ウォーカブル」とは、まちを一体的に**つなぐ**こと



愛媛県松山市花園町通りの事例

整備前

- ✓ 戦後に残された広い街路空間
- ✓ 整備前は6車線（片側3車線）



整備後

- ✓ 歩道を広げて**2車線**に整備
- ✓ 暗い印象だったアーケードを最大幅**10m**の歩道に！

2. 講演概要

「街路デザインの可能性」

未来イメージの共有は
なかなか難しい

だから



社会実験やってみよう！

地域の目指すビジョンの実現可能性を高め、イメージを共有するため、

社会実験もデザインが重要！

デザインと
コンセプトの
深度化

- ① まちを植栽で彩る
- ② さらにデザイン検討
- ③ 模型でのデザインスタディ
- ④ 「日常の風景」を豊かにする

社会実験を仕掛ければ
人は来るが…
365日毎日イベントやる？

景観を変えれば、まちは変わる！

2. 講演概要

「街路デザインの可能性」

花園町通り
整備効果

- ①歩行者通行量 **2** 倍に増加。
②地 価 **上 昇**

※2015年まで下落が続いていたが整備完了後上昇。

- ✓リノベーションにより、魅力的な店舗がオープン
- ✓快適性の価値に換算すると、**7** 年で効果が事業費を上回るという結果※も！

さらに！

※中部大学林良嗣教授の研究グループ

生活の質「QOL」について、利用者のアンケートを基に、歩道の幅や照明の設置等から得られる快適性を価値に換算。年間約**1億8000万円**の効果があると試算。

まちを使って
実験を続ける

- ✓小さなしつらえが人を動かす
- ✓細部に気を配った設計が大切

景観を変えれば
まちは変わる！

- ✓長い時間を見越したデザイン
- ✓風景や歴史とのつながり

みちづくりは
まちづくりから

- ✓ハード整備が地域主体の活動を生む
- ✓丁寧なプロセスが重要

街路を「まちを育てる場所」に！

Agenda

1. 開 催 概 要
2. 講 演 概 要
3. グループワーク概要
4. グループ意見まとめ
5. 全 体 意 見 ま と め
6. 次 回 開 催 内 容

3. グループワーク概要

議 題

国道340号三日町・十三日町区間の街路の線形案（八戸工業大学作成）3例について、意見を伺った。

(現況図)



ウォーカブルなストリートを実現するための3つの手法

①歩道拡幅

1車線分3mを歩道として配分。

②車を優先しない

路上駐車を減らす。
速度を下げる。

③歩車道フラット化

20cmの高低差をなくす。

※動かせないもの

- ・ 地上機器
- ・ 消火栓

3. グループワーク概要

前提として

Q1. 3車線から2車線にしても交通量は問題ないのか？

日本道路交通情報センター（JARTIC）公表の「断面交通量情報」を基に交通量を解析。

国道340号三日町区間の時間交通量は、ピーク時の交通量は627台/h、30番目時間交通量（通常車線数を決定する際に用いるもの）584台/h。

都市部の計画水準1の低減率0.8を考慮すると、計画交通量は730台/h。

一方、交差点の可能飽和交通流率は1車線1,470台/青1h程度と推定され、現状の有効青時間比を0.35をかけると515台程度は捌けることとなるので、交差点の飽和度は0.70程度と推定される。

※飽和度…一般的に、0.8～0.9で飽和状態とされている。

説明：八戸工業大学工学部工学科学科長 博士(工学) 武山 泰 教授



このことから、

**2車線に減少しても
問題ない交通量**

であると考える。

（荷捌きなどの短時間駐停車、
交差点の処理をしっかりと
行った場合）

Q2. 荷捌きスペースはどのように配置したのか。

7・8月に車両等の停車について、八戸工業大学及び八戸市で調査を実施済。現状の停車が多い場所（前頁の現況図内に示してあるとおり）付近に荷捌きスペースを確保し、線形3案を作成した。

説明：八戸工業大学工学部工学科 博士(工学) 西尾 洸毅 先生

Q3. 八戸三社大祭の山車運行に影響はないのか。

三社大祭の山車の幅は最大8m、奥行き11m、高さ10m。2車線により車道は狭くなるが、フラット化による着脱式のボラード（車止め）により、問題なく運行可能。さらに、歩車道一体的な空間が広がるため、視覚的にも広い空間を演出できる。

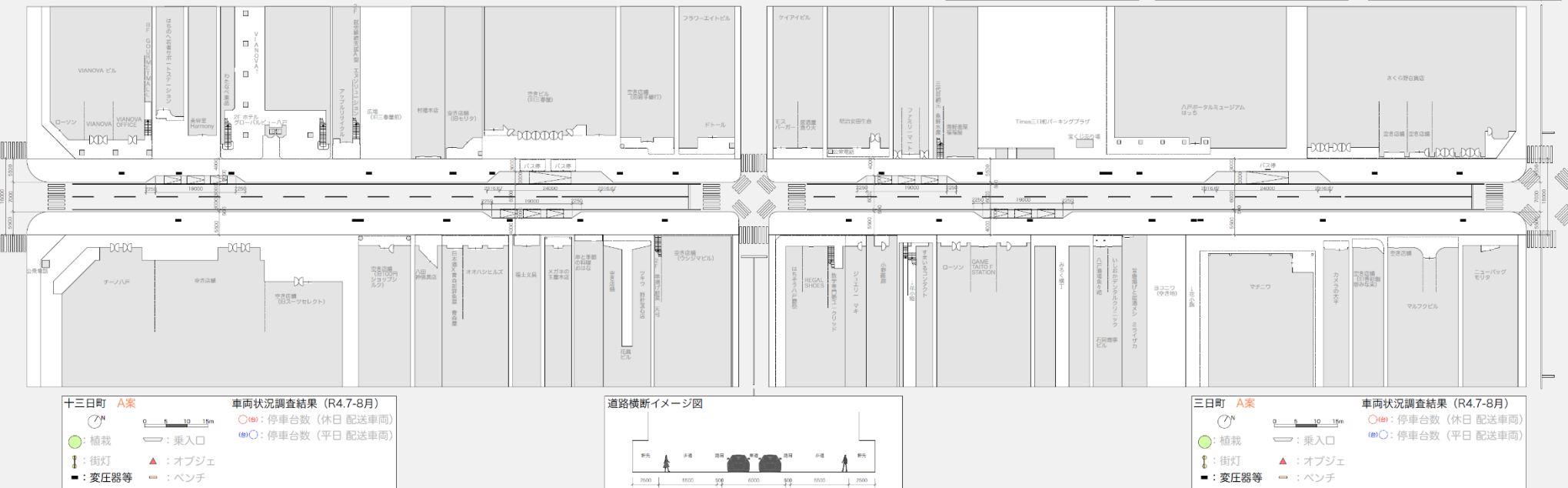
3. グループワーク（線形案A）

直線・両側均等に歩道拡幅

バス停
バスベイ型

歩車道断面
フラット化

荷捌きスペース
固定
(各歩道1カ所)



メリット

- ✓ どの場所でも現況より広く歩道を活用できる
- ✓ 荷捌き・停車バスが一般車両の通行を妨げない

デメリット

- ✓ 荷捌き用スペースが路上駐車に使われる可能性がある
- ✓ 直線なので車の速度が上がりやすい
- ✓ バスベイ型は本線合流が難しい

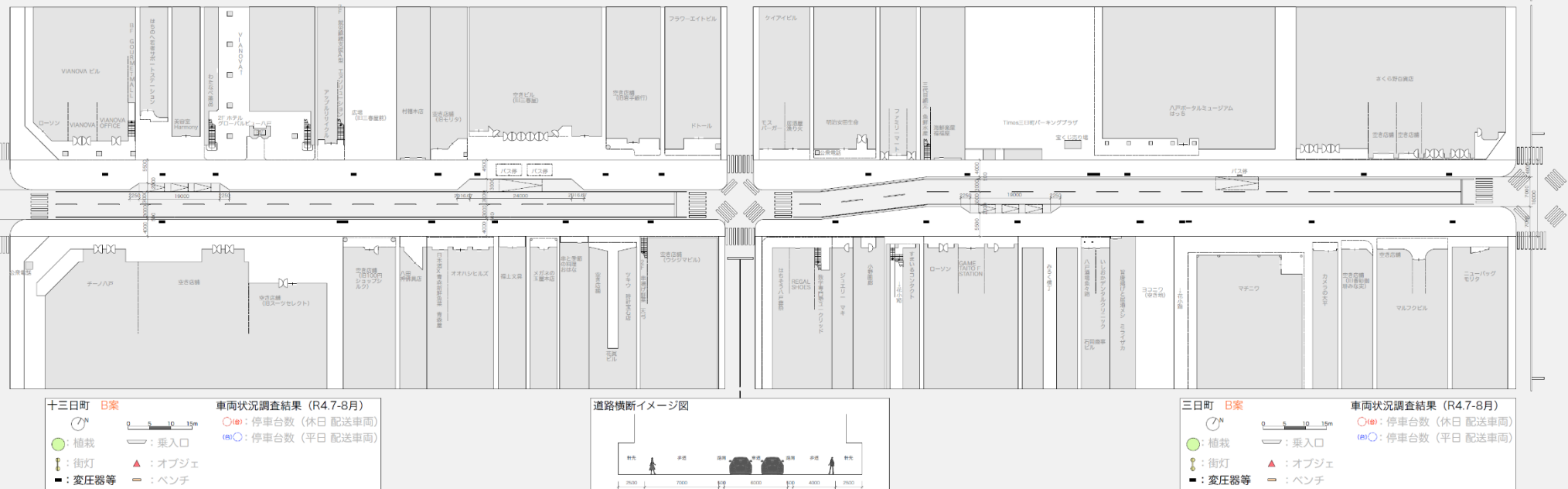
3. グループワーク（線形案B）

直線・片側のみ歩道拡幅

バス停
バスベイ
ストレート型

歩車道断面
フラット化

荷捌きスペース
固定
(各街区1カ所)



メリット

- ✓ A案よりも最大歩道幅が広い
- ✓ ストレート型（バス停車）は本線合流しやすい
- ✓ 一部蛇行するため、その前後は車両減速が期待

デメリット

- ✓ 荷捌き用スペースが路上駐車で使われる可能性がある
- ✓ 片側は歩道幅が現状と変わらず、不公平感がある
- ✓ バスベイ型は本線合流が難しい

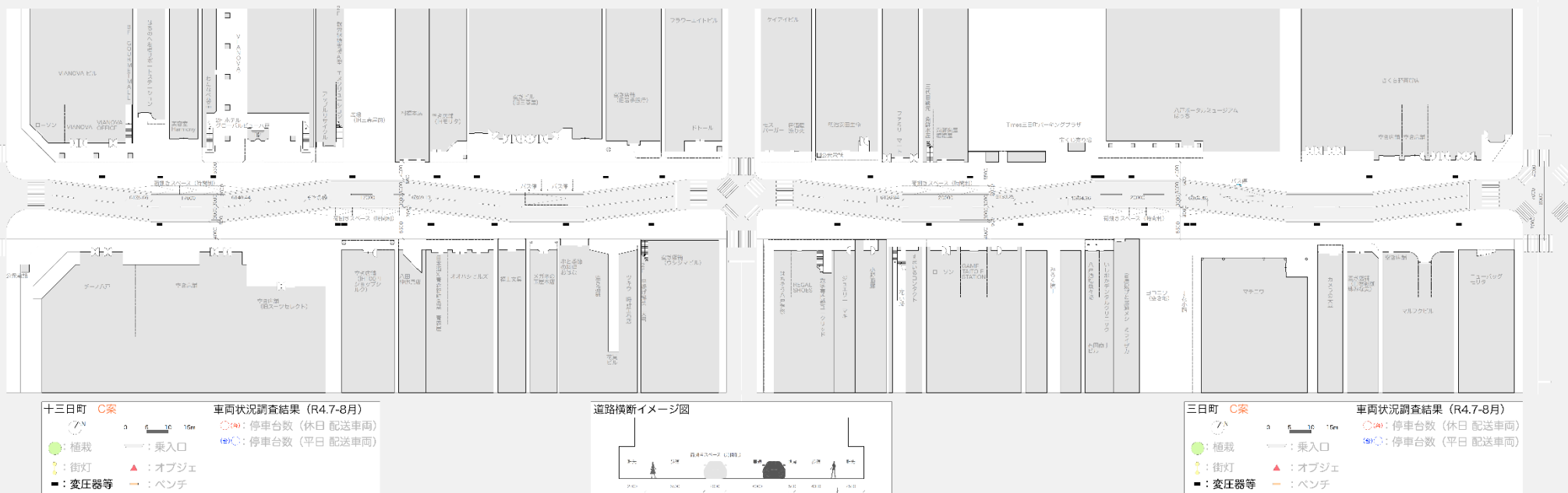
3. グループワーク（線形案C）

蛇行

バス停
テラス型

歩車道断面
フラット化

荷捌きスペース
時間制
(各歩道1カ所)



メリット

- ✓ 最大歩道幅が広い
- ✓ 荷捌きスペースに路上駐車されにくい
- ✓ 全体的に蛇行するため、車の減速が期待できる

デメリット

- ✓ 荷捌きの時間が限定される
- ✓ 停車バスが一般車両の通行を妨げる
- ✓ 歩道幅が現状と変わらない部分がある

Agenda

1. 開 催 概 要
2. 講 演 概 要
3. グループワーク概要
4. グループ意見まとめ
5. 全 体 意 見 ま と め
6. 次 回 開 催 内 容

4. グループ意見まとめ

Aグループ

結論… 2車線化に反対。

- ・ 2車線化で三日町交差点等が**渋滞**することが予想され心配。
- ・ 一部の利用者のためだけに、荷捌き所をつくってまで**2車線化する必要があるのか。**
- ・ 青森市の新町どおりは2車線だが、路肩を含んで3車線分の余裕があるため何かあってもよけられるが、この2車線化の案ではそれはできない。
- ・ 他市の事例は八戸市には**適さない**。歩道拡幅したからと言って人は来ない。
- ・ もしやるのであれば、メインストリートではないところで成功してからやるべきでは。
- ・ 三日町バス停は多い時で3台停車することもあるため、**このバスベイでは足りない**。

主な
ご意見

4. グループ意見まとめ

Bグループ

結論…A案が現実的であると考える。

主な ご意見

A案

- ・ A案でフラット化になると、視覚的にも広く見える。
- ・ 植栽・ベンチを設置することで、両側に色々なものが見えるようになり、視覚的にも楽しめる。
- ・ 車道をカラー舗装することで、人優先のストリートに見えることから、車の減速効果がある。
- ・ フラット化について 現状段差があることで事故防止効果につながっていると思うが→ボラードを増やすなど対策はできる（吉谷氏）

B案

- ・ 三日町バス停で何台もバスが連なると交差点付近で渋滞が生じることから、バス停は引っ込めた方がいい。
- ・ 車での送迎に伴う乗降スペースは必要。
- ・ 片側だけ広がるが、どこにどういう機能を入れるかが重要。

C案

- ・ 蛇行させることで事故は起きないか。→スピードに合わせた曲線となるため、事故はそれほど起きない。（吉谷氏）

4. グループ意見まとめ

Cグループ

結論…A案が無難であると考える。

主な ご意見

A案

- ・ 両側均等に歩道拡幅という **公平性** の観点からA案が良い。
- ・ 停車車両の多い場所 への 停車帯設置 という根拠が分かりやすくて良い。
- ・ 停車帯が少なく感じる。マルフクビルやチーノ付近にあっても良い。
- ・ 停車帯以外への停車 が心配。
- ・ 拡幅により **片側1.5mだけ増** というスペースが **中途半端**。
- ・ 停車帯の位置は、現状調査をもとにしたものだが、この先ずっと同じ店舗がいるとは限らない ため、バランス良く均等に配置 するのが良いのでは。

B案

- ・ 広いスペースを確保 できるが、**広げた歩道で何をするのか** が大切。
- ・ 歩道中央部分に残った 地上機器がデッドスペースになるのではないか。
- ・ 沿道店舗によって 不公平感 がある。

C案

- ・ 三日町バス停が車道上にあるので、バスが連なる場合は渋滞を招く のでは。

Agenda

1. 開 催 概 要
2. 講 演 概 要
3. グループワーク概要
4. グループ意見まとめ
5. 全 体 意 見 ま と め
6. 次 回 開 催 内 容

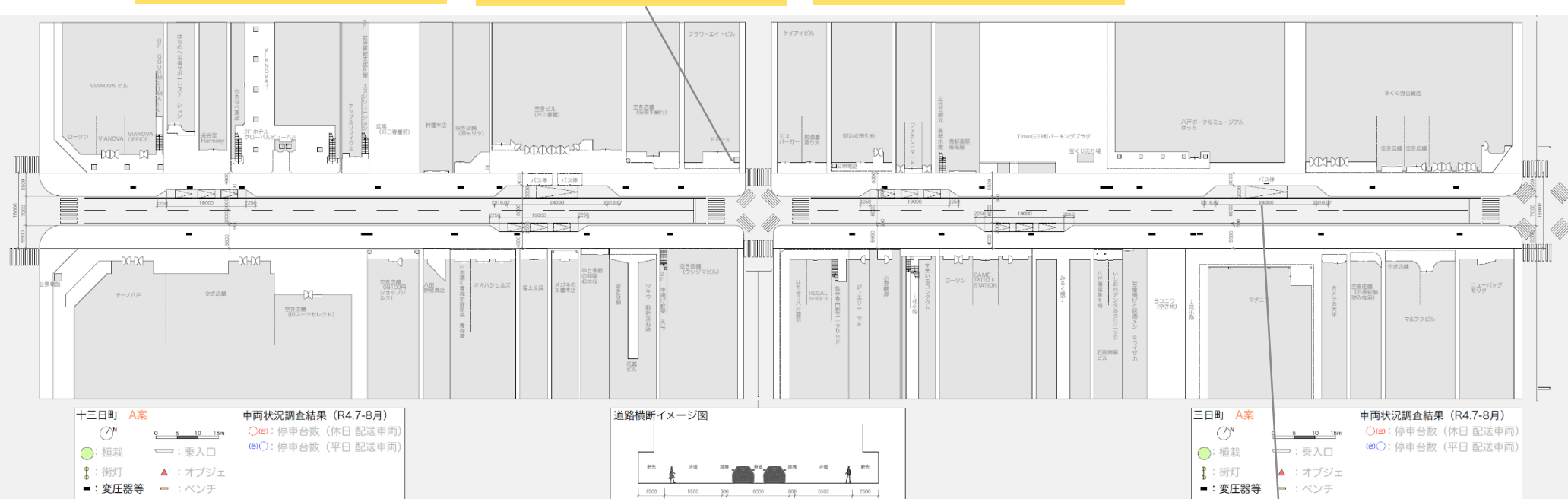
5. 全体意見まとめ (A案)

良い点
改善が必要な点

両側均等に拡幅
するから公平

車道をカラー
化することで
車の減速効果

フラット化で
視界が開ける



事故防止のため
ボラードの設置
は増やして

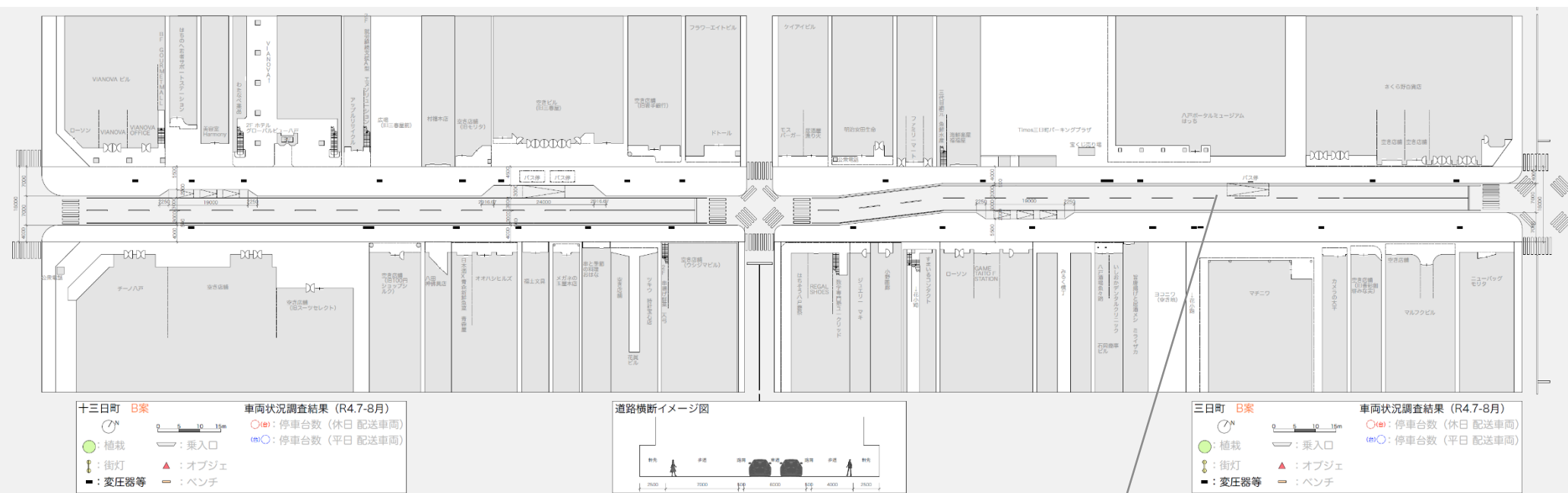
広がるのが片側
1.5mだけなの
で中途半端

停車帯は balan
ス良く均等が良
いのでは

三日町バス停
バスベイを
もっと広く！

5. 全体意見まとめ (B案)

良い点
改善が必要な点



地上機器がデッドスペースになるのでは

広くなったところにどういう機能を入れるかが重要

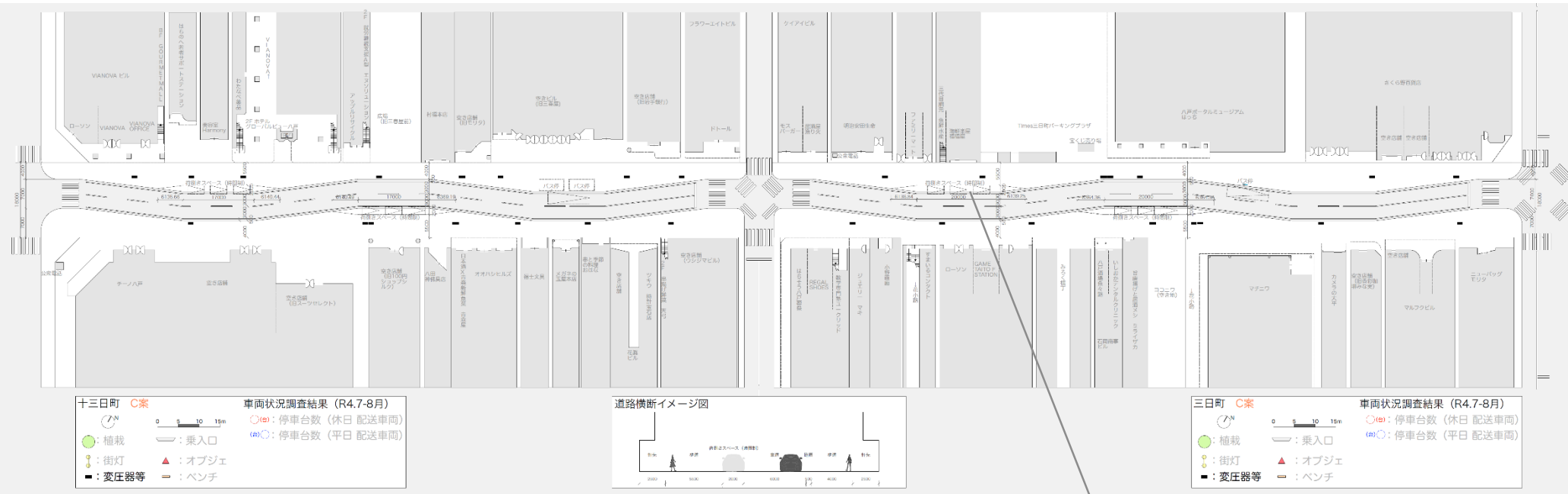
送迎用の乗降スペースは必要

バス停は引っ込めた方がいい

店舗によって不公平感がある

5. 全体意見まとめ (C案)

良い点
改善が必要な点



蛇行による
メリットが
分かりづらい

バスベイは
設けた方がいい

5. 全体意見まとめ

今回は、限られた時間の中で線形3案について御協議いただき、3グループ中2グループでA案が望ましいとの方向性に至りましたが、残り1グループでは、「3車線でフラット化すればよいのでは」、「車線減少により渋滞が懸念される」という2車線案に反対の御意見も一部ございましたので、引き続き検討して参ります。

市といたしましては、歩道の拡幅による「滞在空間」の充実や「活動」が展開されることで、沿道店舗への波及効果も期待できると考えておりますが、今回の勉強会で出された意見を踏まえながら、次回の勉強会では、前半の一般参加型で出された意見を参考に、街路をどのように使いたいのか、どのようなことができるかなどを検討していくことといたします。

また、今年度中に、全3回の勉強会を経て、線形、意匠、パースを合わせた「ビジョン」を作成していく予定です。

さらに、令和5年度は、2車線にした場合の車両への影響や歩行・滞在空間充実の効果を検証するために、実証試験を実施いたしますが、その実証試験の結果を踏まえ、沿道地権者等と協議を行い、市としての整備方針を確定したいと考えております。

その方針と実証試験結果のデータを青森県に提示し、青森県においても整備内容や手法を検討した上で、令和6年度以降に詳細設計、着工を順次行う予定となります。

5. 全体意見まとめ

事業全体のスケジュールについて（予定）

R4 年度

R5 年度

R6 年度以降順次

現在ここです。

勉強会の
開催

ビジョン
策定

実証試験

方針決定

詳細設計

着 工

残りあと2回
で引き続き線
形・意匠案等
についてご検
討いただきます。

皆様から検討
いただいた内
容をビジョン
に反映します。

2車線にした
場合の交通へ
の影響調査や、
店舗への波及
効果調査など
を実施します。

実証試験を踏
まえ、ビジョ
ンを確定し、
県でも検討し
ます。

調査結果及び
再考した未来
ビジョンを地
域の総意とし
て県に提出し
ます。

詳細設計完了
次第、県で順
次着工します。

実施主体：八戸市

実施主体：青森県

5. 全体意見まとめ

また、市では、11月に中心市街地居住者アンケートを実施しており、居住者からの目線で街路に関する自由記述をいただいておりますので、参考までに一部を公表いたします。

☒ その他 (とにかく 歩道のタイルをやめてほしい。雪ふきすべし 段差など 崩れやすい所多
☐ 特になし とても 危険。11月よりも、市民観光客が歩く道の安全を!!

。カラスのフン対策もしっかりやってほしい。歩くのがいやになる。
【問6】最後に、あなたが中心市街地に欲しいと思うもの、誰かのために必要だと思うものは何ですか。(例:〇〇なお店、時間やお金を気にせず過ごせる場所、音楽を楽しめるライブハウス、小さな子供と親子で遊べる芝生広場など)

自由にくつろげるスペース。コンビニで買ったものでも 自分のお金でも 気軽に店頭に
置かれる飲食できる フリースペースがほしい。いちもマチニワも 徒歩
に ちがう。

観光客が 中心街を歩きやすいように (段差あり) ⇒ スーツケースや車いす、ベビーカーの人にとっても
歩きやすいようにしてほしい。

・映画館 ・カフェ ・スイーツ店 ・雑貨屋 ・花屋 ・スターバックス

・歩道を広げ、車の進入を減らし、ベンチを設置したり、木や花を多くする。

(バス、タクシー等)

飲食店ではなく、カフェや小売店を多くする。子どもが遊べる場所もほしい。

歩道を広げるとともに キャンカーなどを設置、外でランチをしたり、コミュニティを
したいスペースを作る。(歩道を広げるのが無理なら段差なし、きれいなタイルで舗装)

質問は以上です。アンケートへのご協力ありがとうございます
により、以下の期限までに郵送していただくか、QRコード
をお願いいたします。

・歩きやすくなる、立ち寄りやすくなる
・街づくり。

障害者、車いす、高齢者、子供たちが安心して歩ける
段差のない 歩行者のための 歩道がほしい
(歩きやすい)

まず第一に道路(歩道)!! 歩くのが危くしょうがない。
今までいろいろな都市を見てきたが、こんなに道のガタガタな都市はない。
第一印象として、まず道がきれいなく、アタ抜きな人だと思ってしまう。

中心市街地に出かけて行くまでの安全安心な歩きやすい歩道。バス停
中心市街地の歩道が斜めに凍結するとこわい。除雪しない店の前は氷の厚さ
歩くところがないこわい

高齢者や子供などが安心して歩ける場所があるような優しい街にするための配慮。
(日かげを作る樹木やベンチ等)街路路は何故仙台等。ようにのびのびと植え育てるの
ではなく、セパしてしまうのか。殺伐としてゆとりが感じられない街になっている。美しい街に
したい。(お金がかかる街ではなく、来てみたいと思える様な街に)

高齢者に歩くのも不自由で、歩道の整備(歩きやすい)を
お願いしたい。

このように、歩道の早期改修のほかにも、歩道拡幅や段差のない道路を望む御意見を数多くいただいていることから、事業の早期着手に向けて、引き続き皆様と協議を重ねながら進めて参りたいと考えておりますので、御協力の程よろしくお願いいたします。

Agenda

1. 開 催 概 要
2. 講 演 概 要
3. グループワーク概要
4. グループ意見まとめ
5. 全 体 意 見 ま と め
6. 次 回 開 催 内 容

6. 次回開催内容について

街路の使い方の視点から、以下の内容についてグループワークを行う予定です。

次回グループワークでの検討内容

街路でやりたいこと
どういったことができるか

実証試験の内容について

三社大祭やホコテン、日常使いなど、色々なシーンでの八戸らしい街路の姿を思い描きながら、どのように使いたいのかについて検討していただきます。

ご参加いただき誠にありがとうございました 次回以降も皆さまのご参加をお待ちしております

※第5・6回につきましても沿道関係者様限定で開催いたしますので、
関係者以外への周知はご遠慮くださいますよう御協力をお願いいたします。

申込締切
12/14(水)

第5回開催

12月21日(水)
15:00-17:00
八戸ポータルミュージアム
はっち1Fシアター1

主な議題

街路の使い方の検討

申込締切
2/9(木)

第6回開催

2月16日(木)
15:00-17:00
八戸市庁
別館2F会議室B・C

主な議題

線形・意匠を含めた総合的な検討

【お申し込み・お問合せ先】

八戸市まちづくり文化スポーツ部 まちづくり推進課
T E L:0178-43-9426
E mail: machi@city.hachinohe.aomori.jp
F A X:0178-41-2302